

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東
 コード番号 2820 URL http://www.yamami.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 徹
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)六車 祐介 (TEL)0848(86)3788
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 2024年3月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績 (2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	9,571	22.1	1,274	152.6	1,274	144.3	893	153.4
2023年6月期第2四半期	7,838	13.0	504	△10.2	521	△8.4	352	△6.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	128.26	—
2023年6月期第2四半期	50.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	15,157	9,057	59.8
2023年6月期	13,814	8,289	60.0

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 9,057百万円 2023年6月期 8,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	14.00	—	18.00	32.00
2024年6月期	—	19.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	41.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	17.4	2,000	92.5	2,002	88.7	1,337	66.7	191.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	6,967,500株	2023年6月期	6,967,500株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	320株	2023年6月期	240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	6,967,248株	2023年6月期2Q	6,967,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、個人消費の回復やインバウンド需要の増加など、穏やかな景気回復基調となりました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属します食品製造業におきましても同様に、主原料の大豆や油脂、包材などの原材料価格の高騰に加え、都市ガス、電気などのエネルギーコストの上昇もあり厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は価格改定をお願いするとともに、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進め、価格改定をお願いした後も当社の美味しさに拘った商品が受け入れられ販売数量は増加致しました。また、省エネ効果の高い設備への更新に積極的に取組み経費削減に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は9,571百万円と前年同四半期と比べ1,733百万円(22.1%)の増加となりました。

利益につきましては、営業利益は1,274百万円と前年同四半期と比べ770百万円(152.6%)の増益、経常利益は1,274百万円と前年同四半期と比べ752百万円(144.3%)の増益、四半期純利益は893百万円と前年同四半期と比べ540百万円(153.4%)の増益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,342百万円増加し、15,157百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して1,138百万円増加し、3,946百万円となりました。これは主に売掛金が956百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して204百万円増加し、11,210百万円となりました。これは建設仮勘定が207百万円増加したこと等によるものです。

② 負債の部

当第2四半期会計期間末における総負債は、前事業年度末と比較して574百万円増加し、6,099百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して816百万円増加し、3,967百万円となりました。これは主に買掛金が322百万円増加したこと及び未払金が256百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して241百万円減少し、2,131百万円となりました。これは主に長期借入金が227百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して768百万円増加し、9,057百万円となりました。これは主に、利益剰余金が768百万円増加したこと等によるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して145百万円増加し、549百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,229百万円(前年同四半期は525百万円の収入)となりました。

これは、支出要因として売上増加に伴う売上債権の増加956百万円等があった一方で、収入要因として税引前四半

期純利益1,328百万円、減価償却費724百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、689百万円（前年同四半期は264百万円の支出）となりました。

これは、設備投資等により、有形固定資産の取得による支出744百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、394百万円（前年同四半期は192百万円の支出）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出255百万円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績および今後の見通しを踏まえ、2023年8月9日付「2023年6月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表した通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年2月14日）公表の「2024年6月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異および通期業績予想ならびに配当予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	404,480	549,482
売掛金	1,944,119	2,900,889
商品及び製品	74,862	59,172
原材料及び貯蔵品	370,177	423,034
その他	14,275	13,902
流動資産合計	2,807,916	3,946,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,890,078	3,863,542
機械装置及び運搬具(純額)	4,730,828	4,755,583
土地	2,126,946	2,126,946
建設仮勘定	167,615	375,056
その他	22,709	23,047
有形固定資産合計	10,938,177	11,144,176
無形固定資産	5,361	3,920
投資その他の資産	62,684	62,552
固定資産合計	11,006,223	11,210,649
資産合計	13,814,140	15,157,131
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,335,154	1,657,991
1年内返済予定の長期借入金	502,846	475,248
未払金	687,384	943,924
未払法人税等	290,521	473,238
未払消費税等	11,819	54,528
賞与引当金	11,630	13,230
その他	311,789	349,211
流動負債合計	3,151,144	3,967,371
固定負債		
長期借入金	1,854,323	1,626,717
リース債務	372,698	360,309
繰延税金負債	108,522	108,706
その他	37,827	36,038
固定負債合計	2,373,371	2,131,771
負債合計	5,524,515	6,099,142

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,245,724	1,245,724
資本剰余金	1,218,724	1,218,724
利益剰余金	5,825,855	6,594,042
自己株式	△491	△731
株主資本合計	8,289,813	9,057,760
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△189	228
評価・換算差額等合計	△189	228
純資産合計	8,289,624	9,057,989
負債純資産合計	13,814,140	15,157,131

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	7,838,539	9,571,975
売上原価	6,261,718	7,090,513
売上総利益	1,576,820	2,481,461
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	774,704	866,267
広告宣伝費	19,339	22,009
販売手数料	66,258	80,683
給料及び賞与	95,326	100,919
賞与引当金繰入額	1,670	1,910
減価償却費	1,393	1,032
その他	113,427	133,790
販売費及び一般管理費合計	1,072,119	1,206,613
営業利益	504,701	1,274,848
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	82	89
助成金収入	1,801	2,709
自動販売機収入	2,591	2,752
スクラップ売却収入	1,579	2,127
受取保険金	20,976	—
その他	965	1,005
営業外収益合計	27,997	8,687
営業外費用		
支払利息	10,703	9,149
その他	394	347
営業外費用合計	11,097	9,497
経常利益	521,600	1,274,038
特別利益		
補助金収入	—	54,767
新株予約権戻入益	9,398	—
特別利益合計	9,398	54,767
税引前四半期純利益	530,999	1,328,806
法人税等	178,289	435,209
四半期純利益	352,710	893,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	530,999	1,328,806
減価償却費	713,565	724,490
賞与引当金の増減額(△は減少)	100	1,600
受取利息及び受取配当金	△83	△91
支払利息	10,703	9,149
新株予約権戻入益	△9,398	—
補助金収入	—	△54,767
売上債権の増減額(△は増加)	△820,991	△956,769
棚卸資産の増減額(△は増加)	△88,443	△37,165
仕入債務の増減額(△は減少)	385,137	322,837
未払金の増減額(△は減少)	△65,806	71,602
未払又は未収消費税等の増減額	60,921	42,709
その他	27,934	46,048
小計	744,639	1,498,448
利息及び配当金の受取額	83	91
利息の支払額	△10,788	△9,294
法人税等の支払額	△208,386	△260,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	525,548	1,229,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△264,528	△744,111
投資有価証券の取得による支出	△360	△365
補助金の受取額	—	54,767
その他	69	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,819	△689,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△292,314	△255,204
自己株式の取得による支出	—	△239
リース債務の返済による支出	△11,670	△13,812
配当金の支払額	△88,934	△125,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,918	△394,478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,809	145,002
現金及び現金同等物の期首残高	160,848	404,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	228,658	549,482

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。